

会議録

会議の名称	令和7年度第1回弘前市子ども・子育て会議		
開催年月日	令和7年10月15日(水)		
開始・終了時刻	14時00分 から 15時00分まで		
開催場所	弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室		
議長等の氏名	佐藤 三三		
出席者	• 佐藤 三三 会長 • 三橋扶弥子 委員 • 笹森 麻野 委員 • 相馬加寿子 委員 • 安川由貴子 委員 • 秋元 桃子 委員 • 相馬 玲子 副会長 • 金子 泰雅 委員 • 秋元 彩香 委員 • 尾馬 大輔 委員 • 森岡 欽吾 委員		
欠席者	• 相澤 純子 委員 • 秋田 友理 委員 • 工藤 淳治 委員 • 工藤 武久 委員 • 柿崎 良樹 委員		
事務局職員の職氏名	• 健康子ども部長 佐伯 尚幸 • こども家庭課長 清野 悟 • こども家庭課長補佐(兼前こどもの広場所長) 村田 善彦 • こども家庭課長補佐 太田 宏之 • 主幹兼母子保健係長 土岐 暖子 • 健全育成係長 小川 華子 • 子育て相談係長 北畠 龍 • 子育て包括支援係長 小枝 信也 • 保育係長 福田 育子 • 保育係主事 工藤 隼人		
会議の議題	(1) 令和6年度弘前市子ども・子育て支援事業計画実績報告について (2) その他		
会議結果	(1) 令和6年度弘前市子ども・子育て支援事業計画実績報告について、事務局より説明した。 (2) 出席委員から意見を得た。		

会議資料の名称	<p>資料1－1、1－2、1－3 令和6年度弘前市子ども・子育て支援事業計画実績報告について 追加資料 令和6年度なかよし会、児童クラブ利用状況資料</p>
会議内容 (発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)	<p>○開会</p> <p>【司会】 「令和7年度第1回弘前市子ども・子育て会議」を開会いたします。 今回の会議から、オンライン形式と並行での開催となっております。 はじめに、健康こども部長の佐伯から挨拶を申し上げます。</p> <p>(佐伯健康こども部長より挨拶)</p> <p>続きまして、子ども・子育て会議事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>(清野課長より、順に紹介)</p> <p>続きまして、委員の異動等に伴い、後任として新たに委員となられた方をご紹介いたします。</p> <p>(新任委員の紹介)</p> <p>次に、会議の定足数についてご報告いたします。本日、ご出席の委員は11名で、欠席は5名となっておりますが、委員の半数以上が出席されておりますので、弘前市子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定により会議成立とさせていただきます。</p> <p>【議長】 それでは議事について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>●議事 令和6年度弘前市子ども・子育て支援事業実績報告について</p> <p>【事務局】 (資料1－1、1－2、1－3、追加資料に沿って、順次説明)</p>

	<p>【議長】 ご意見、ご質問、ご感想等ござりますか。</p>
	<p>【委員】 会議の資料は、今後公開されますか。</p>
	<p>【事務局】 約1か月後に、議事録や会議資料は公開予定です。</p>
	<p>【委員】 乳児家庭全戸訪問支援事業は、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭の訪問ができているということだったので、その旨、資料に記載があった方が良いと思う。</p>
	<p>【事務局】 そのように補足します。</p>
	<p>【議長】 資料1－3については、先ほどの事務局からの説明のとおり、保育の需給状況が、資料提供開始時から大きく変わっていることから、今後は、不要としてよろしいでしょうか。</p>
	<p>(意見なし)</p> <p>今後、不要ということで、よろしくお願ひします。 それでは、実績報告の議論は、これを認めるということで、終わりたいと思います。次に、次第3. その他について事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>【事務局】 (第3期弘前市子ども・子育て支援事業計画の変更について説明)</p>
	<p>【議長】 ご意見、ご質問、ご感想等ござりますか。</p>
	<p>(発言なし)</p>

それでは、事務局から提案がありましたが、子ども・子育て支援事業計画については変更がありますが、軽微であることから、今後、意見聴取の方法や会議の開催の有無について、会長と事務局に一任いただくことによろしいでしょうか。

(意見なし)

それでは、会長と事務局に、ご一任願いたいと思います。
その他、子どもの子育て等について、日頃から感じていることや、ご意見はありますか。

【委員】

実績報告を見ていて、受入れる施設や供給量がたくさんあって、評価はAと書いてあるんですが、私としては、自分の園でも、地域でも子供が少なくなっていて、妊婦健診も出生数が少なくなっているから、少なくなりましたと書いていて、この計画の評価とか実績の報告を聞いて、すごく参考になったんですが、ぜひ皆さんと、今の少子化とか子育てしやすい環境にするには、どうやってこれから努力していくべきかということをお話しする会議なのかなと思って、今日参加したので、ぜひ、次回は皆さんと、青森県や弘前市の子どもをどのように増やしていくかということについて、いっぱい意見を交わせたらいいなというふうに思っております。

【議長】

今、少子化の中で、子どもをどう増やしたらいいかということを、もっといろいろ議論したらいいと問題提起いただきましたが、次回以降の参考に、もう少し議論してみたいと思うことを、出していただけますか。

【委員】

私自身、5歳の子どもを育てています。医療費の無償化とか、いろいろと支援はあるんですが、友達に3人目も頑張ればと言っても、3人は「無理、生活できない」って言うんですね。だから、どういうところがネックになるんだろうというのがすごく思っています。弘前市でもいろいろとやってくださいて、県や国でも、高校・大学を無償化してもらっても、子どもを産んで育てたいって思わない。今現在の支援をしてくれないと、小さい子に手が一番かかるし、自分の仕事の立場

的にも忙しいし、そういうところのケアとかを、どのようにやつてくれているのかというのが、見えにくいのかなと思います。

【議長】

次回、事務局よろしくお願ひします。

【委員】

私は3人子どもがいますが、2人目以降になると、周りの助けがどうやっても必要かなというのがあって、祖父母と同居していない家庭が多いと思うので、例えば、もう既に実施している病後児保育とかも、自分も利用を検討したことはあるんですが、やっぱり一步踏み出せない。利用してしまえば、とてもいいものかもしれないですが、始めの一本のハンドルが割と高いと思っていて、今ある制度を最大限に活用できるようにアピールをするのも1つの方法かなと思いました。

【議長】

その他いかがでしょうか。

【委員】

なかよし会の支援員の方々へ、子どもと接する上での指導や、基本の接し方のようなものは、定期的に、市の方からお話ししているのでしょうか

【事務局】

県が実施している認定資格を受けている先生とそうでない先生がいますが、基本の指導方法については、そちらで勉強しています。

あと、年に1回、なかよし会の支援員全員に対して、指導について全体研修会を開いています。

【委員】

小学生の子どもは、親でも手を焼く年齢でもあると思うので、本当に支援員の方達には毎日感謝の気持ちでいっぱいですが、少し前に、自分の子どもが、身体のことで、からかわれるようなことを支援員の方に言われて、傷ついてしまうということがあって、その時は、報告したら、改善してくれたんですが、報告するには至らない程度でも、支援員が本当にそういう

	<p>う言い方をしたのかと耳を疑うような言い方をしている支援員も、全体ではないですが、一部いるようです。地域柄、おばあちゃん目線で少し強く言ってしまったり、訛りの延長のような部分もあるのかなとは思いつつ、言葉選びや行動とかも含めて、大事な時期の子どもに接するという自覚は持っていただければいいなと思います。年ごとに、そういう場を設けているということだったので、定期的に指導がされているのかなとは思うんですが、例えば、新しく雇用した方とかにも、改めてこうこういう言葉遣いには気をつけましょうとか、わかるようなマニュアルがあった方が、支援員の方達に響くのかなと思いました。</p>
	<p>【議長】 重要なご指摘ありがとうございました。 その他いかがでしょうか。</p>
	<p>(発言なし)</p>
	<p>それでは、事務局にお返しします。</p>
	<p>【司会】 佐藤会長、委員の皆様ありがとうございました。 今回、初めてオンライン形式との同時開催ではありましたが、事務局の不手際によりまして、委員の皆様には大変ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。</p>
	<p>○閉会</p>
	<p>【司会】 以上をもちまして、「令和7年度第1回弘前市子ども子育て会議」を閉会いたします。</p>
その他必要事項	会議は公開